

SLD

SPEED LIMIT DEFENCER



取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
 取付ける前及びご使用前に必ずお読みになつてください。
 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
 ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。

E89751-T00023-00
 2006年 6月10日発行
 Ver. 3-1.06

はじめに

この度は、HKS SLDをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及びご使用する前に本書をお読みください。

商品名	SLD SPEED LIMIT DEFENCER (TYPE II)		
コード No.	4502-RA003		
用途	自動車用スピードリミッター解除装置		
適合車種			
車名	型式	エンジン型式	年式
セルシオ	UCF3#	3UZ-FE	'00.8 ~ '03.7
	UCF2#	1UZ-FE	'97.7 ~ '00.7
スープラ	JZA80	2JZ-GTE	'97.8 ~ '02.8
	ソアラ	UZ240	3UZ-FE
アリスト	JZZ30	1JZ-GTE	'91.5 ~ '96.7
	JZS161	2JZ-GTE	'97.8 ~ '02.8
	JZS160	2JZ-GE	'97.8 ~ '02.8
マーク	JZX110	1JZ-GTE	'00.10 ~ '04.10
マジェスタ	UZS171	1UZ-FE	'99.9 ~ '04.6
ウインダム	MCV20	1MZ-FE	'98.8 ~ '01.7
カルディナ	ST246W	3S-GTE	'02.9 ~

車名	型式	エンジン型式	年式
マーク チェイサー クレスト	JZX100	1JZ-GTE	'96.9 ~ '00.9
		1JZ-GE 1	'96.9 ~ '00.9
	JZX101	2JZ-GE	'96.9 ~ '00.9
	JZX90	1JZ-GTE	'92.10 ~ '96.8
		1JZ-GE	'92.10 ~ '96.8
	JZX93	1JZ-GE	'93.10 ~ '96.8
	JZX91	2JZ-GE	'92.10 ~ '96.8
クワット	JZS171	1JZ-GTE	'99.9 ~ '03.11
アルテッツァ	SXE10	3S-GE	'98.10 ~
アルテッツァジータ	JCE10W	2JZ-GE 2	'01.7 ~
ヴェロッサ	JZX110	1JZ-GTE	'01.7 ~ '04.10
ハリアー	MCU35W	1MZ-FE	'03.2 ~
備考	1 JZX100ツアラーS 5速A/T車 '98.8 ~ '00.9 は適合外です。 2 JCE10W アルテッツァジータは5速A/T車の適合です。		

HKS SLD TYPE IIはトヨタのオートマチック車のスピードリミッターを解除する装置です。SLDを付けることにより、180km/hを超えてもスピードリミッターが入らなくなり、サーキット走行時に非常に有効です。また、オートマソレノイドを制御している為、スピードリミッター解除に伴う不具合(シフトアップしない・キックダウンによるオーバーレブ等)は一切ありません。

クローズドサーキット以外で本製品を使用しないでください。一般公道で本製品を使用した場合、法令により処罰されることがあります。

本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。

消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げ販売店又は㈱エッチ・ケー・エスお客様相談室(本書の最後に記載)にお問い合わせください。

部品を発注する際は、商品名・コード・エンジン形式を注文先にお伝えください。コードはパーツリストに記載されています。

お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。

本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されており、上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。

本製品及び保証書の製造番号が一致していることを確認してください。

本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみで使用可能です。

本製品の仕様は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。

本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。

This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.

目次

はじめに.....	1	異常・故障時の対応.....	32
目次.....	3	保証について.....	33
安全上の注意.....	4	アフターサービスについて.....	33
パーツリスト.....	6	譲渡等の際の注意.....	33
取付方法.....	7	本製品の仕様.....	33
取付終了後の確認.....	29	用語の説明.....	34
取扱方法.....	30	改訂の記録.....	35
維持・管理.....	31		
故障と思う前に.....	31		

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。



警告

作業者又は使用者が死亡、又は重傷及び中程度の傷害を負う可能性がある場合



注意

作業者又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害 例えば、車両破損及び焼損)



警告

本製品及び付属品が運転の妨げにならないように取付けてください。

運転操作ができなくなり、事故の原因となります。

本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けないでください。

火災の原因となります。

バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行なってください。

ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。

使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

そのまま使用しますと、感電や火災の原因となります。



注意

本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。

本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対行わないでください。

感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。

精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。

作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。

オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。

作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。

断線・ショート・誤配線のないように取付けてください。

感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。

車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。

純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。

・整備書がお手元ない場合は、メーカーにてご購入ください。

取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。

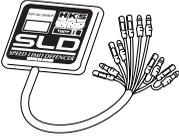
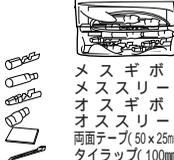
ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。

・必要以上に締付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。

								
1	本体	1	2	付属品セット	1	3	取扱説明書	1部
		(例)						
4	保護シール	1	3	取扱説明書	1部			

取付けに使用しなかったパーツは大切に保管してください。

取付けに必要な工具

- ・スパナ 10mm
- ・ニッパ
- ・ドライバ
- ・カシメ工具
- ・ソケットレンチ 10mm
- ・絶縁テープ

取付方法

本製品を取付ける前に、取付予定の車種がSLD TYPE IIと適合していることを必ず確認してください。判らない場合は、お買い上げの販売店、又は㈱エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。



注意

適合車種以外への取付は絶対に行わないでください。
 作動不良を起こし車両を破損する恐れがあります。
 適合車種以外に取付を行った場合に発生した、不具合や損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

適合車種設定一覧表

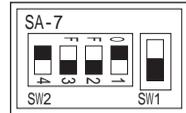
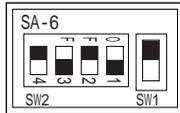
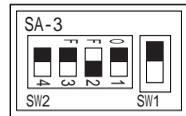
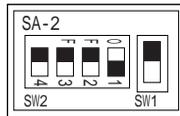
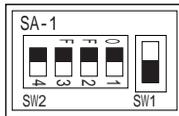
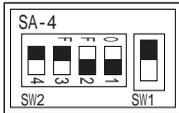
車名	型式	エンジン型式	年式	ECU位置	スイッチ設定	配線図
セルシオ	UCF3#	3UZ-FE	'00.8 ~ '03.7		SA-4	E-8
	UCF2#	1UZ-FE	'97.7 ~ '00.7		SA-4	E-9
スープラ	JZA80	2JZ-GTE	'97.8 ~ '02.8		SA-3	E-6
ソアラ	UZZ40	3UZ-FE	'01.4 ~		SA-4	E-8
	JZZ30	1JZ-GTE	'91.5 ~ '96.7		SA-1	E-1
アリスト	JZS161	2JZ-GTE	'97.8 ~ '02.8		SA-3	E-5
	JZS160	2JZ-GE	'00.7 ~ '02.8		SA-5	E-9
		2JZ-GE	'97.8 ~ '00.6		SA-2	E-5
クラウンアスリート	JZS171	1JZ-GTE	'99.9 ~ '03.11		SA-3	E-5
		1JZ-GE 5th AT	'99.9 ~ '03.11		SA-5	E-9

車名	型式	エンジン型式	年式	ECU位置	スイッチ設定	配線図
アルテッツァ	SXE10	3S-GE	'98.10~		SA-5	E-7
マークII	JZX110	1JZ-GTE	'00.10~		SA-6	E-5
マークII チェイサー クレスタ	JZX100	1JZ-GTE	'98.8~'00.9		SA-6	E-3
		1JZ-GE	'98.8~'00.9		SA-2	E-3
		1JZ-GE ETCS-i付き	'99.8~'00.9		SA-2	E-4
	JZX101	2JZ-GE	'98.8~'00.9		SA-2	E-4
	JZX100	1JZ-GTE	'96.9~'98.7		SA-6	E-3
		1JZ-GE	'96.9~'98.7		SA-2	E-3
	JZX101	2JZ-GE	'96.9~'98.7		SA-2	E-3
	JZX90	1JZ-GTE	'92.10~'96.8		SA-1	E-1
		1JZ-GE	'92.10~'96.8		SA-1	E-2
JZX93	1JZ-GE	'93.10~'96.8		SA-1	E-2	
JZX91	2JZ-GE	'92.10~'96.8		SA-1	E-1	
マジェスタ	UZS171	1UZ-FE	'99.9~'04.6		SA-4	E-9
アルテッツァ ^{リミテッド}	JCE10W	2JZ-GE 5th AT	'01.7~		SA-5	E-9
カルディナ	ST246W	3S-GTE	'02.9~		SA-7	E-10
ウインダム	MCV20	1MZ-FE	'98.8~'01.7		SA-7	E-11
ヴェロッサ	JZX110	1JZ-GTE	'01.7~'04.10		SA-6	E-5
ハリアー	MCU35W	1MZ-FE	'03.2~		SA-7	E-12

8

1. スイッチの設定

- (1) 7~8ページの適合車種設定一覧表より、取付ける車両のスイッチ設定を確認します。
- (2) (1)の設定に適合する図を参照し、スイッチの設定を行ってください。スイッチ設定は、下図のようにハーネスを下側にして見た図です。黒印がある側につまみを合わせてください。



⚠ 注意

スイッチの設定は、必ずイグニッションキーがOFFの状態で行ってください。
設定を誤ると動作不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。

- (3) スイッチの設定が合っている事を確認後、スイッチ穴が隠れるように付属の保護シールを貼ってください。

9

シール前



シール後

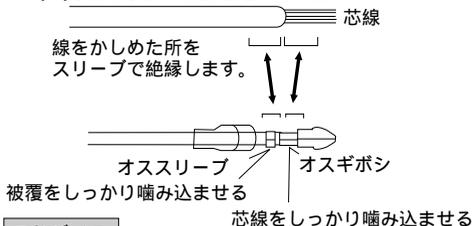


2. 配線方法

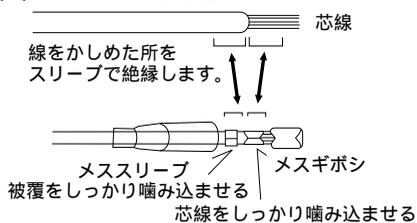
2.1. ギボシの取付方法

配線に必要な信号線を下図の通りに加工してください。

(1) オスギボシ 切断した車両の線



(2) メスギボシ 切断した車両の線



アドバイス

- ・ギボシをかしめる専用工具がない場合は、ラジオペンチなどで噛み込ませた後、はんだ付けをして、ギボシから線が抜けないことを確認してください。
- ・ギボシをかしめる前に、スリーブを入れてください。

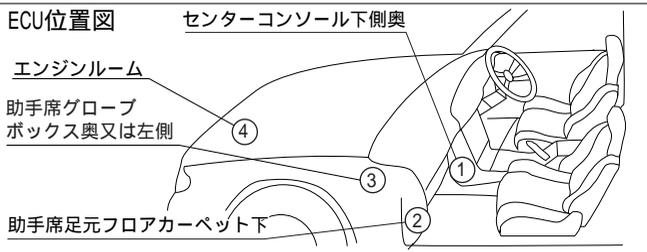
10 |

2.2. 配線

- (1) 7~8ページの適合車種一覧表より、取付ける車両のECU位置を確認してください。
- (2) (1)の位置よりECUを取り出します。

⚠ 注意

配線を行う前に周辺の水を拭き取ってください。
配線や本体に水がかかると動作不良を起こし、SLDや車両を破損する恐れがあります。



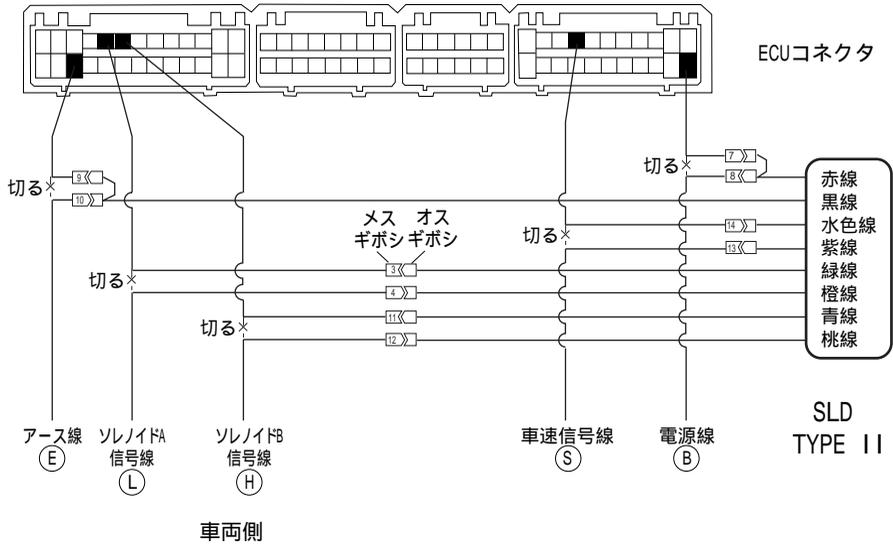
アドバイス

- ・①の位置のECUを外す場合は、シフトレバー部のカバー、灰皿の受け部、グローブボックス、後席用エアコンダクト等を外す必要があります。

11 |

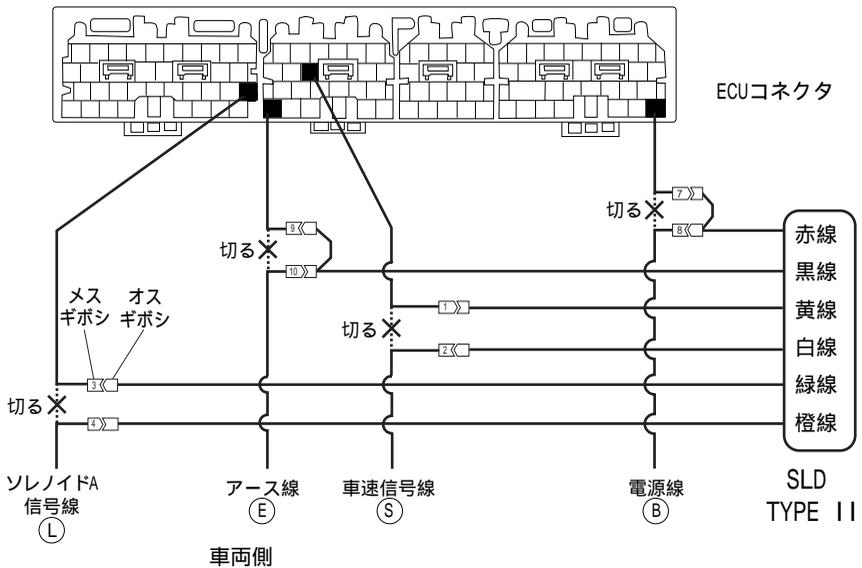
E-2 配線図

コネクタ側



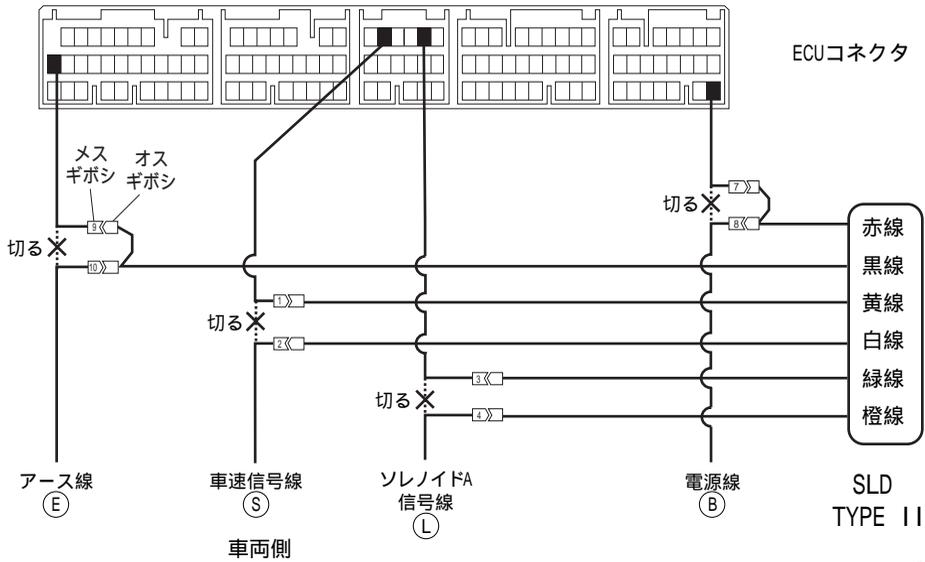
E-3 配線図

コネクタ側



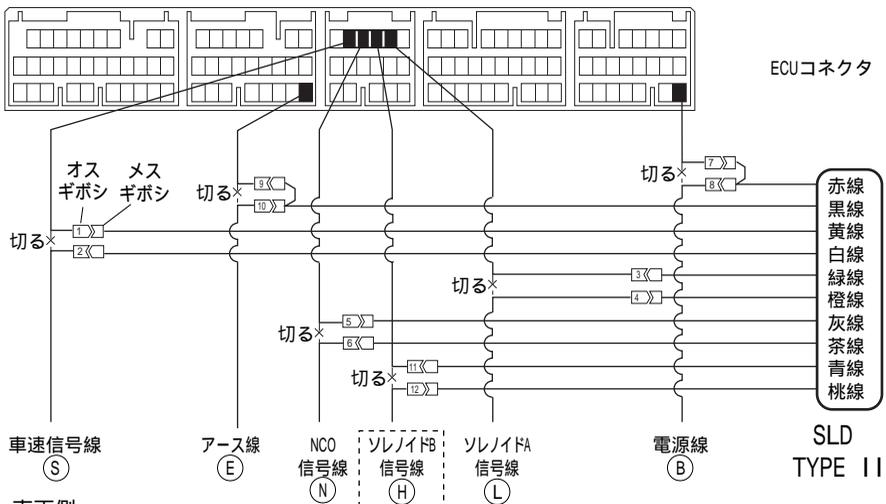
E-4 配線図

コネクタ側



E-5 配線図

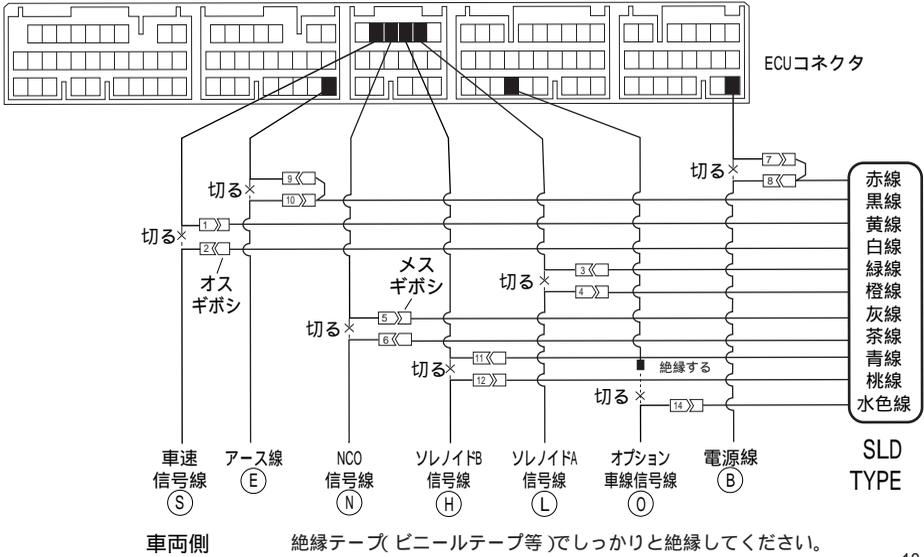
コネクタ側



アリスト JZX16Q ('97.8~'00.6) JZ-GE車・マークII JZX11Q ('00.10~)・
ヴェロッサ JZX11Q ('01.7~'04.10)はソレノイドB信号線の配線をしません。

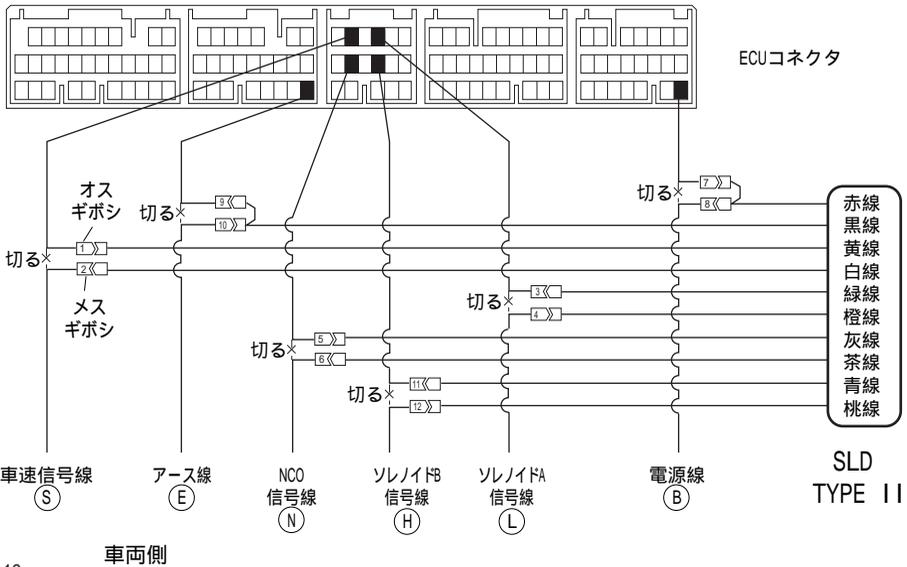
E-6 配線図

コネクタ側



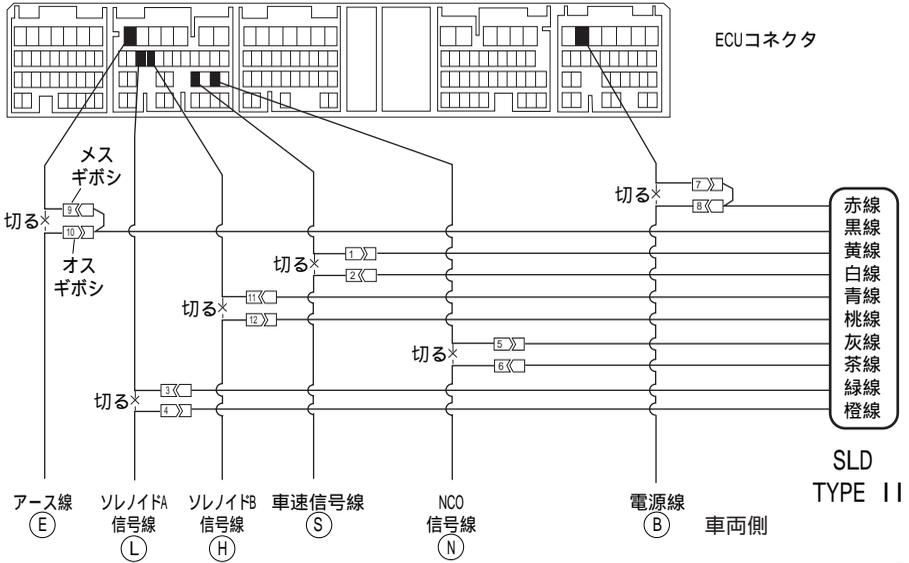
E-7 配線図

コネクタ側



E-8 配線図

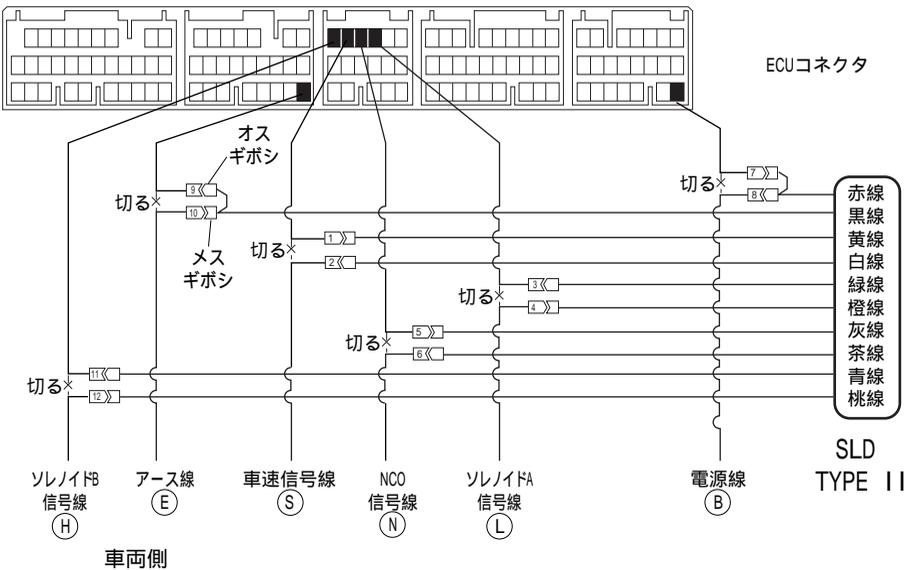
コネクタ側



20

E-9 配線図

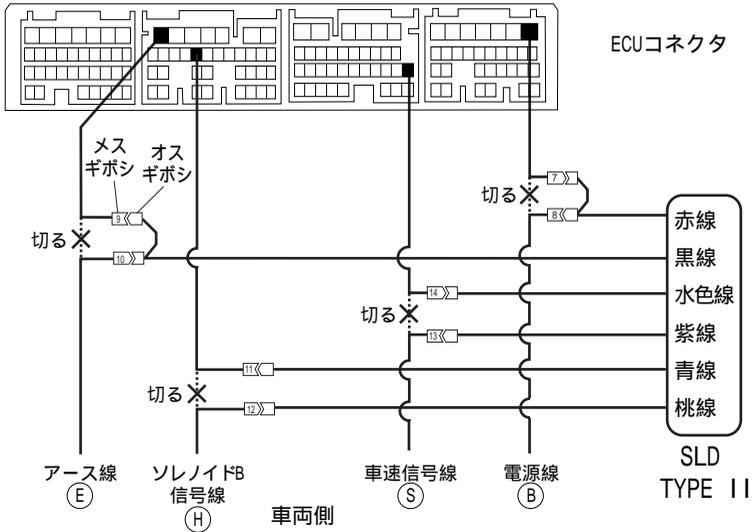
コネクタ側



21

E-10 配線図

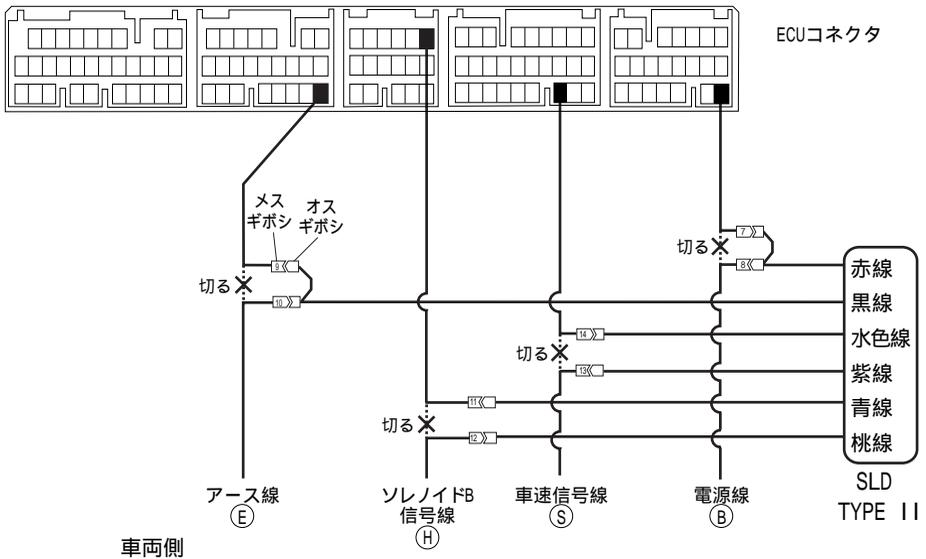
コネクタ側



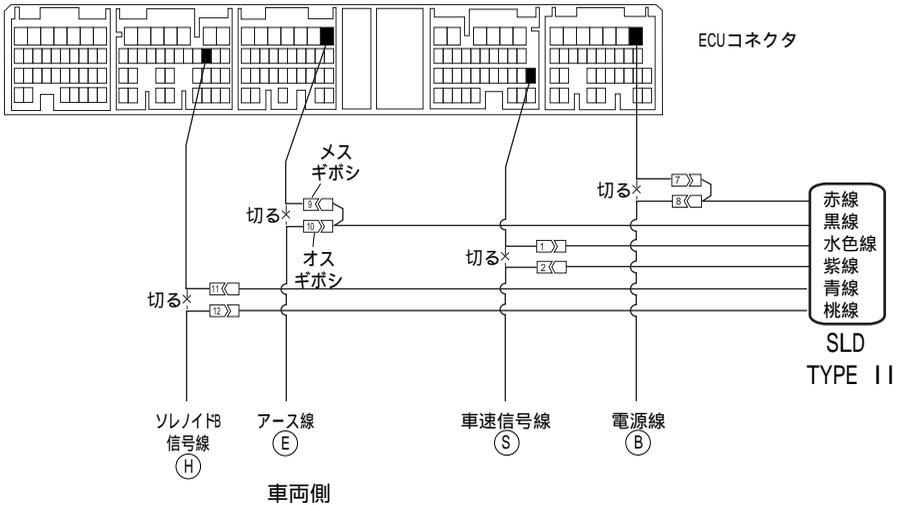
22

E-11 配線図

コネクタ側



23



(5) 配線手順

① 車速信号線 ③ の配線

- ・配線図より車速信号線 ③ を確認します。
- ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- ・コネクタ側にオスギボシを取付けSLDの黄線を接続します。
(E-1・E-2配線図を参照し配線する場合は水色線に接続します。)
- ・車両側にメスギボシを取付けSLDの白線を接続します。
(E-1・E-2配線図を参照し配線する場合は紫線に接続します。)

② ソレノイドA信号線 ① の配線

- ・配線図よりソレノイドA信号線 ① を確認します。
- ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- ・コネクタ側にメスギボシを取付けSLDの青線を接続します。
- ・車両側にオスギボシを取付けSLDの橙線を接続します。

③ 電源線 ④ の配線

- ・配線図より電源線 ④ を確認します。
- ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- ・コネクタ側にオスギボシを取付けSLDの赤線のメスギボシを接続します。
- ・車両側にメスギボシを取付けSLDの赤線のオスギボシを接続します。

④ アース線 ② の配線

- ・配線図よりアース線 ② を確認します。
- ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- ・コネクタ側にメスギボシを取付けSLDの黒線のオスギボシを接続します。
- ・車両側にオスギボシを取付けSLDの黒線のメスギボシを接続します。

- ⑤ ソレノイドB信号線 ④の配線(配線図に記載されている場合)
 - ・配線図よりソレノイドB信号線 ④を確認します。
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側にメスギボシを取付けSLDの青線を接続します。
 - ・車両側にオスギボシを取付けSLDの桃線を接続します。
- ⑥ NCO信号線 Nの配線(配線図に記載されている場合)
 - ・配線図よりNCO信号線 Nを確認します。
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側にオスギボシを取付けSLDの灰線を接続します。
 - ・車両側にメスギボシを取付けSLDの茶線を接続します。
- ⑦ オプション車速信号線 ⑩の配線(JZA80スーブラ'97.8~の場合のみ)
 - ・配線図より、オプション車速信号線 ⑩を確認します。
 - ・ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
 - ・コネクタ側は絶縁テープ(ビニールテープ等)でしっかりと絶縁してください。
 - ・車両側にオスギボシを取付けSLDの水色線を接続します。
- ⑧ 配線に使用しなかった信号線は絶縁テープ(ビニールテープ等)でしっかりと絶縁してください。

⚠ 注意

配線は確実に行ってください。
配線間違いや接触不良は動作不良を起こすだけでなく、SLDや車両、関連機器を破損する恐れがあります。

(6) オプション車速信号線(水色線)

SLDの水色線はオプション車速信号線となっています。エッチ・ケー・エス ターボタイマーやCAMPに接続する事によって180km/h以上の車速表示が可能となります。(スピードセンサーパルス数は4パルスです。)

信号名一覧表

端子番号	線色	信号名
1	黄	車速信号出力
2	白	車速信号入力
3	緑	ソレノイドA信号入力
4	橙	ソレノイドA信号出力
5	灰	NCO信号出力
6	茶	NCO信号入力
7	赤	電源
8	赤	電源
9	黒	アース
10	黒	アース
11	青	ソレノイドB信号入力
12	桃	ソレノイドB信号出力
13	紫	車速信号1入力
14	水色	オプション車速信号

JZA80スーブラ('97.8~)に使用する場合は、水色線を二股に加工してください。
E-1、E-2配線図を参照し、配線をした場合には、水色線はオプション車速信号線としてはご使用になれません。水色線の代わりに紫線を二股に加工しご使用ください。

3. 固定方法

- (1) ECUケース内の隙間やECUフード裏等、他の部品と干渉しない、水のかからない所に固定します。
- (2) 固定箇所を中性洗剤を含んだウエスで、汚れ(ほこりや油分等)を取除きます。
- (3) 付属の両面テープを使用して固定してください。
- (4) 配線を付属のタイラップで固定してください。

注意

確実に水のかからない箇所に固定してください。
SLDや配線に水がかかると動作不良を起こし、SLDや車両を破損する恐れがあります。

4. 取付後の作業

- (1) 配線が確実にされていることを確認してください。
- (2) 取外した純正部品を元通りに取付けてください。
- (3) バッテリーのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。
- (4) 配線に使用しなかったSLDの配線は、絶縁テープ(ビニールテープ等)でしっかりと絶縁してください。

28

取付終了後の確認

本製品の取付け後、下記の項目に従って、取付け作業に間違いのないことを確認してください。

1. エンジン始動前の確認

確認項目	確認
配線及び取付けた部品が、他の部品と干渉していないか。	
配線は確実に固定されているか。	
バッテリーのマイナス端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	

2. エンジン始動後の確認

アドバイス

- ・始動直後は、エンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

確認項目	確認
部品による干渉音がないか。	
配線が引っ張られていないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでいないか。	

以上で、取付け作業は終了です。

作業者の方へのお願い

取付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

取扱方法

注意

- (1) 180km/h以上のスピードではトップギヤ以外で走行しないでください。SLDは強制的にトップギヤに固定しますが、スピードが低下した際に急激なエンジンブレーキが掛かり危険です。また、ステアマチック搭載車では180km/h以上で操作した場合、シフトインジケータの表示と実際のシフトポジションが一致しない場合があります。
- (2) 高速走行後、減速時にシフトダウンによるエンジンブレーキが一瞬かかる場合があります。
- (3) オートマチックトランスミッションの破損を防ぐため、180km/h以上のスピードで長時間走行しないでください。
- (4) 180km/h以上のスピードでギヤをニュートラル位置にしないでください。急激なエンジンブレーキがかかる場合があります。
- (5) サーキット走行時以外は取付けたギボシ同士を接続し、ノーマル状態に戻してSLDを切り離してください。外したSLDの線は絶縁テープ(ビニールテープ等)を巻いて絶縁してください。
サーキット以外では絶対にSLDを使用しないでください。

30

維持・管理

注意

ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

快適に運転していただくために、必ず日常点検を行ってください。

汚れやオイルのついた手でSLDに触れないでください。

ケースが変色する恐れがあります。

SLDを清掃する際には、アルコール・シンナー・ベンジン・ガラスクリーナー・石油類及び各種溶剤等を使用しないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布等で軽く清掃してください。

故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の項目を確認してください。このとき、専門業者に本書を渡してください。

確認項目	確認
スイッチ設定は合っているか。	
配線位置は合っているか。	
白線(紫線)、黄線(水色線)が逆になっていないか。	
橙線、緑線が逆になっていないか。	
灰線、茶線が逆になっていないか。	
青線、桃線が逆になっていないか。	

異常・故障時の対応

警告

使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室に問い合わせてください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

注意

故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、保証書に必要な事項等が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ、専門業者に修理を依頼してください。

32

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。

記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。

保証期間経過後の修理、及びお客様の不注意により、修理が必要になった場合でも、お気軽に(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及び消耗部品・紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために本取扱説明書、保証書等を一緒にお渡しください。本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

注意

本製品を取外した後、車両側の線は必ず絶縁テープ(ビニールテープ等)で絶縁してください。ショートによって電装部品を破損・焼損する恐れがあります。

本製品の仕様

作動電圧.....DC10～16V
動作可能温度.....0～70
最大消費電力.....2W

用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
メーカー : 車両の製造会社。
整備書 : メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
点検・整備 : 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行ってください。
ノーマル車両 : 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことがない、以上の条件を満たす車両。
高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。
例、直射日光の当たる場所・ヒーターの吹き出し口の近く等。
ECU : 車両のエンジンコントロールユニット。
誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
電装部品 : 車両の電気・電子部品。
スピードセンサーパルス数 : スピードセンサーシャフト1回転で発生するパルス数。

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2001/10	初版
3-1.02	2002/1	誤記修正・スイッチ設定追加
3-1.03	2002/9	適合車種追加
3-1.04	2003/9	適合車種追加
3-1.05	2004/5	適合車種追加
3-1.06	2006/6	適合車種追加

